



## LIFE IS A JOURNEY

文 / 中野香織

ケンブリッジで暮らしていた時、週末になると、「ヴォグゾール」という英国車に乗って、B道路を走って郊外に出かけました。ロングメルフォード、ラヴェナム、コッツウォルズに点在する美しいヴィレッジの数々。マイナーな村には旅行情報もなく、ましてやSNSもない時代です。パブやレストランなど、どの店に入るべきか、決め手は自分の直感でした。直感はほぼ正確に、居心地がよい店に導いてくれました。しかし、あとあと強烈に記憶に残っているのは、直感が「コワイ」と告げた場所です。敷居が高そうなバーであったり、常連さんだけで固

まっていそうなパブであったり。ほかに選択肢がなく、コワさを克服して敷居を踏み越えてみると、予期せぬ楽しい経験が待っていたことも少なからずあったのです。

そんな「圏外」への敷居を踏み越える小旅行を繰り返したイギリスでの経験が、その後の仕事や社交、ファッションの選択にも生きています。「ハードル高すぎ」「分野が違うから手ごわい」という恐怖を感じた仕事やお誘いはとりあえず受け、ムリめな服も勢いで着てみました。場違い感を覚えたり無視されたりすることはしばしばですが、意外な幸運に恵まれ

たりした記憶のほうが鮮やかです。いずれにせよ、未知の世界へと冒険すると、全身の細胞が活性化し、生の実感が得られます。LIFE IS A JOURNEY。愛用するスマイソンの赤い手帳に輝く金文字ですが、この手帳には、「圏外」へのささやかな旅で出会った想定外の経験と、それがもたらしてくれた既知の世界に対する新たな発見を書き記しています。

中野香織 (エッセイスト・明治大学特任教授)

ファッション史から最新モード事情にいたるまで、幅広い視野から研究・執筆・レクチャーをおこなう。著書『モードとエロスと資本』、『ダンディズムの系譜—男が憧れた男たち』ほか多数。